

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	認知症施策推進事業	コード	2213
-------	-----------	-----	------

2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	介護福祉課	作成者	石橋 百合子
--------	----	-------	----	-------	-----	--------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	福祉の推進	施策	高齢者福祉の推進
		予算科目	認知症施策推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
	根拠法令	介護保険法			

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等

*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要 （簡潔に）	認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供、認知症の人の介護者への支援を実施する。	
目的	対象者	認知症（疑いも含む）の方及びその家族、市民
	意図	認知症の人とその家族への早期対応を図る。

5 事業の実施内容

*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

①認知症初期集中支援チーム（平成28年8月30日設立） 複数の専門職により認知症が疑われる人、認知症の方とその家族を訪問し、アセスメントや家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立支援のサポートを行った。 ・チーム員：サポート医5人、岡谷市民病院1人、諏訪湖畔病院1人、市職員4人 ・チーム員会議開催数：8回 ・対象者数：新規19人、継続19人 ・相談件数：16件	
②認知症地域支援・ケア向上事業 認知症の方ができる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができるよう、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の方やその家族を支援する業務等を行った。 ○認知症地域支援推進員の配置：市職員5人（R1年度1名研修受講） ○認知症サポーター養成講座 開催数：33回 参加者数：537人 ○認知症に対する知識の普及 健康づくりのつどい（11月17日）にて認知症に関するクイズ、介護に関する情報提供を実施。 ○認知症カフェ充実…R1年度ほっとカフェ（株）和が家主催）を本人ミーティングに拡充。 ・本人ミーティング岡谷（和が家主催） 開催数：11回 参加者数：114人 ・オレンジカフェ小井川（小井川区主催） 開催数：11回 参加者数：198人 広報おかや12月号特集記事、シルキーチャンネルにて周知 ○出張認知症カフェ ・ウエルシア長地店ウエルシアカフェ開催（10月23日） 参加者：17人 ・諏訪湖ハイツ開催（2月25日） 参加者：40人 ○あったか見守りネットワーク事業（平成30年6月）の拡充 あったか見守りネットワーク事業の協力事業者11業者（郵便局、生活協同組合、新聞販売店）と協定締結（9月24日） ・登録者数 22名 ・安否確認等の連絡 6件	
前年度の課題への対応	・認知症カフェほっとカフェが本人ミーティングとして拡充し、「認知症本人の声」をよりよい暮らし、地域に生かせるよう内容の充実を図った。 ・出張認知症カフェを実施し、人の多く集まる場所や出向く場所で認知症や介護に関する情報提供、相談を実施した。

6 指標の達成状況

*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	認知症初期集中支援チーム員会議 開催数			単位	回
実績値	6	5	8		
* 指標の説明					
② 成果指標（指標名）	認知症初期集中支援チーム 相談件数			単位	件
目標値	35	35	35		
実績値	30	16	16		
達成度	85.7%	45.7%	45.7%		
* 指標の説明					
* 目標値の設定方法の説明					

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	12,593,362	12,378,844	10,837,265	13,631,000
経常経費	12,593,362	12,378,844	10,837,265	13,631,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	20,593,362	20,378,844	18,837,265	21,631,000
前年度比		99.0%	92.4%	114.8%
財源内訳				
一般財源	0	0	0	0
特定財源	20,593,362	20,378,844	18,837,265	21,631,000
* 特定財源の説明	諏訪広域連合地域支援事業受託収入			
④ 活動一単位あたりコスト	3,432,227	4,075,769	2,354,658	
前年度比		118.7%	57.8%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	100.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。		0
成果指標の目標値 達成度	45.7%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チーム員会議が一定の方向性を示した報告的な位置づけになっている。市以外のチーム員による訪問支援につながらない。 ・本人ミーティングの参加者が固定化しており、新規参加者が少ない。(周知、交通手段の問題) ・民間企業(銀行・スーパー・交通機関・高齢者宅へ訪問する企業)等の認知症への理解を深めることが課題である。
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市以外の専門職チーム員にタイムリーな相談ができるよう訪問依頼する対象を絞っていく。 ・高齢者が多く集う場所や出向く場所で本人ミーティングを企画実施していく。 ・本人の声を企業にも伝える機会を作り、認知症への理解を深める機会を図っていく。 ・普段認知症に関心のない世代や、認知症の人を介護する家族に、認知症の人の視点に立った支援をしていただくため、VR認知症体験会を実施する。 ・若年性認知症やMCIの方が受診すると思われる脳神経内科に本人ミーティングや通いの場等について周知を行う。
改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---